

① 公共施設使用料の改定見直しと今後の事業計画について

今年4月より利用する人と利用していない人との公平性の観点から、受益者負担または応分の負担という説明によって公共施設使用料改定がおこなわれた。8カ月経過後でも町民から様々な声が聞こえてきます。改定後の施設等の利用状況と改定後の町民への周知、使用料改定の見直しや今後の事業計画等について伺う。

- (1) 8カ月経過後の使用料徴収額と各施設の利用状況はどうか。
- (2) 町民からの新たな意見や反応はあったのかどうか。
- (3) 町民への料金改定についての周知はその後おこなわれたのか。
- (4) 減免団体の今後の取り扱いはどのように確定していくのか。
- (5) 公共施設使用料の使途は今後どのように考えているのか。
- (6) 公会計財務書類を活用し、施設別のセグメント情報を把握し事業計画を図っていく考えはないのか。

② 高齢者の入浴補助券について。

入浴補助券については、これまでも長年住民の喫緊の課題となっている。高齢者の健康増進と癒しのために、入浴補助券が配布されている。しかし、昨今、そのシステムも変貌し高齢者にとって使いにくくなってきた。それについて、多くの高齢者から不満の声も聞こえてきた。今後の活用と対策について伺いたい。

- (1) 現在の入浴補助券のしくみはどうなっているのか。
- (2) 新しいシステムに変更した時期とその根拠は何か。
- (3) 高齢者が、一人で入浴券を交換できない場合はどのような対応をしているのか。
- (4) 入浴補助券をタクシー券やバス券への変更についての考えはどのように変わったのか。
- (5) 新システム後の入浴補助券配布数と使用金額について今後の予想はどう考えるか伺う。